

地域の安全 問 介護保険課 ☎45-8123 FAX30-0011

地域社会全体で見守ります 「下妻市高齢者等見守りネットワーク事業連携協定」締結

ワタミ株式会社と下妻市は7月18日、高齢者等見守りネットワーク事業連携協定を締結し、平成27年3月に市内30の事業者や団体などと協定を締結してから31事業所目となりました。

協定の内容は、普段の仕事や活動の中で、さりげない見守りを行い、異変などに気付いた場合は、速やかに市役所や警察署、消防署などに連絡をすることを目的としたものです。高齢者、障害者、児童などが住み慣れた地域で安心して生活できるよう地域社会全体で見守り、異変などがあった場合に早期に発見・対応し、適切な支援につながることが期待されています。

協定書を取り交わした稲葉市長は、「本日の協定を契機として、地域における見守りの輪がますます広がってほしい」と期待し、小瀬北関東統括支部長は「行政と協力して地域の皆さんが安心して生活できる見守りの一助となれば」と力強く抱負を語りました。



協定書を取り交わした小瀬北関東統括支部長(左) 稲葉市長(中)と押茨城南部支部長(右)

交通安全 問 消防交通課 ☎43-8309 FAX43-4214

わすれない ルールとライトと 思いやり 夏の交通事故防止県民運動キャンペーン



通勤ドライバーに安全運転を呼び掛ける交通安全母の会のメンバー

夏の交通事故防止県民運動(7月20日~31日)の一環として、下妻警察署や市内交通団体の関係者など約120人が7月20日早朝、本宿交差点と宗道十字路の2カ所で街頭キャンペーンを行いました。参加者は、信号待ちの通勤ドライバーに啓発品を配りながら、交通安全を呼び掛けました。

夏休み期間中は、屋外での活動や家族旅行などレジャーの機会が増え、夏の解放感、連日の猛暑や行楽の疲労などによる交通事故の多発が懸念されるため、交通事故防止に向け、歩行者、ドライバーが共に交通安全の意識を持つことが大切です。市民一人一人が交通ルールの遵守と、マナーの向上に取り組み、交通事故防止を目指しましょう。

水防訓練 問 消防交通課 ☎43-2119 FAX43-4214

地域を守る消防団員が水防工法の習得 第58回鬼怒・小貝水防連合体水防訓練7月2日

つくば市小貝川左岸(平和橋下流)のつくば市小貝川スポーツ公園で、「第58回鬼怒・小貝水防連合体水防訓練」が行われました。

下妻市、つくば市、常総市、つくばみらい市、八千代町の水防関係者約200人が集まり、出水期にあたり水害に備えようと合同で訓練したのは5つの水防工法。県常総工事事務所と土浦土木事務所の指導のもと、「木流し」「シート張り」「折り返し」「五徳縫い」「土のうの輪」を作る知識と技術を習得しました。

下妻市消防団からは第2分団、第3分団の精鋭20人が参加。梅雨の間の晴れとなった当日は、気温30度を超える蒸し暑い中、本番さながらの水防工法の作業に汗を流しました。

第2分団の山本分団長は「今日学んだ水防に関する知識と技術などを他の団員にも伝えます。団員たちは普段からまともな訓練があるので、非常時には率先して地域のために活動できるように意識を高めていきたい」と力強く語りました。



水防訓練に取り組む下妻市消防団員

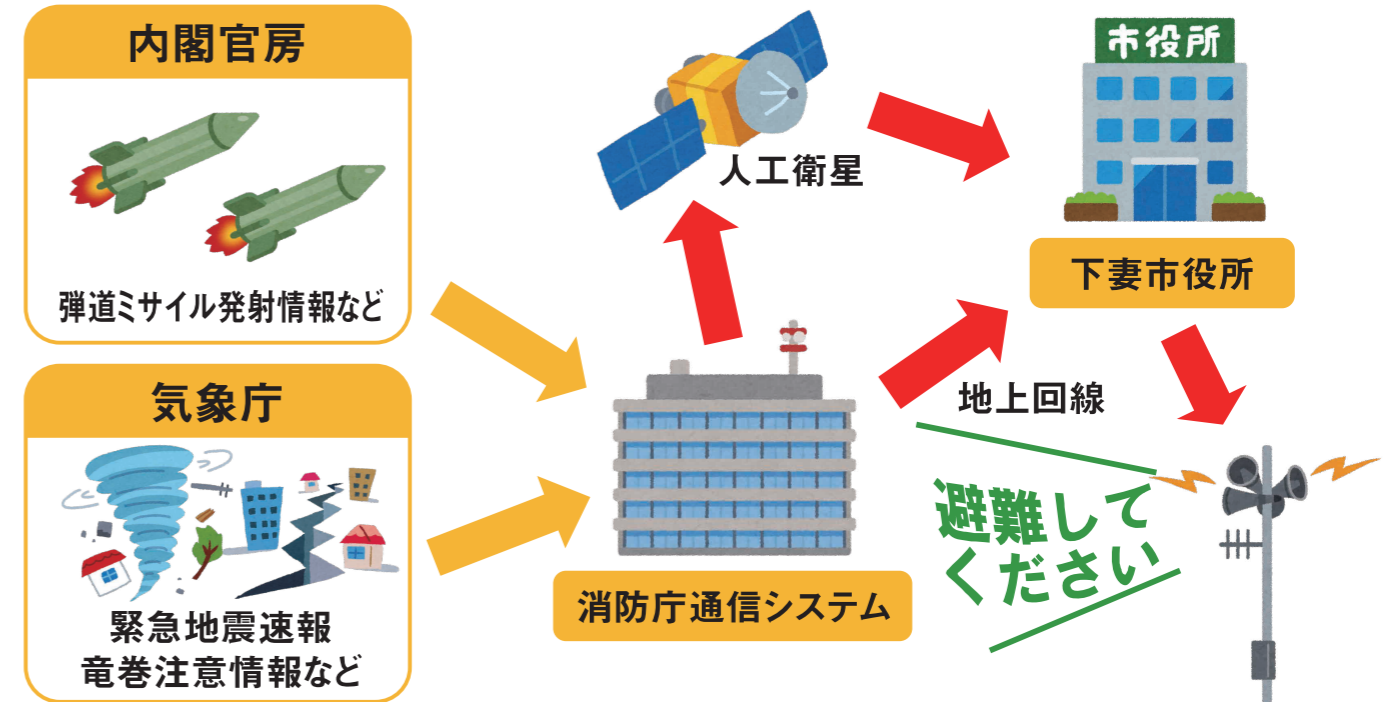
有料広告欄

J-ALERT (ジェイ・アラート) 全国瞬時警報システム

国の緊急情報
瞬時に伝達

全国瞬時警報システム(J-ALERT)とは?

全国瞬時警報システム(J-ALERT)は、気象庁が発表する緊急地震速報などの自然災害や内閣官房からの弾道ミサイル発射情報などの緊急情報を、人工衛星などを經由して受信し、人の手を介さずに自動で市の防災行政無線を起動して、市内小・中学校や公民館などにある防災無線スピーカーから警報を放送するシステムです。



お知らせする情報

下妻市においては全国瞬時警報システム(J-ALERT)により次の項目の情報が放送されます

自然災害に関する情報

- 緊急地震速報
- 火山情報
- 訓練放送
- 気象警報
- 竜巻注意情報

国民保護に関する情報

- 弾道ミサイル情報
- ゲリラ・特殊部隊攻撃情報
- 大規模テロ情報
- 航空攻撃情報
- その他の国民保護情報